

会 議 録

会議名称	西東京市行財政改革推進委員会 第 19 回会議
開催日時	平成 14 年 2 月 26 日（火） 午前 9 時 30 分から午前 10 時 30 分まで
開催場所	田無庁舎 3 階 庁議室
出席者	箱崎委員長 竹之内副委員長 柳原委員 筑井委員 長澤委員 松山委員 高梨委員 倉本委員 坂井企画部長 柏木企画部参与 尾崎企画課長 神作企画部主幹 新井主査 飯島主査
議題等	1 答申項目について 2 その他
会議資料	☐ 西東京市行財政改革推進委員会答申（たたき台）…………… 資料 1
記録方法	発言者の発言内容ごとの要点記録（内容、別紙会議録の通り）

西東京市行財政改革推進委員会会議 平成13年度 第19回会議録

委員長：おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから第19回西東京市行財政改革推進委員会を開会いたします。
本日の議題は、答申案についてです。前文を副委員長にまとめていただきました。各論については、前回のものとそれほど変わっておりません。
それでは、前文を副委員長から説明していただけますか。各論については、私から説明をさせていただきます。

副委員長：1「はじめに」と2「市民の選択」について、説明します。

◇◇ 資料に基づき説明 ◇◇

委員長：ありがとうございました。

それでは、3の「健全で効率的な財政運営」以降の各論について、私から説明します。

◇◇ 資料に基づき説明 ◇◇

お読みになられて、項目の追加や訂正、削除をするような箇所がありましたら、次回までに提案をお願いします。

副委員長：内容的な問題ではなく、形式的な部分で事務局にお願いしたいのですが、表現の点で一致していない箇所が見受けられます。例えば金額の表示ですが、6ページでは「7億7千万円」と漢語表現を使用しているのに対し、7ページでは「1億7,000万円」「8,400万円」と算用数字を用いています。また、漢数字とアラビア数字の使い分けにも、統一性がない部分があります。例で申し上げますと、11ページの「第1歩」は「第一歩」とすべきだと思います。それから、12ページの「最も……されなければ行けません」は「最も……されなければいけません」とひらがな表示にすべきだと思います。「従って」は「したがって」とひらがな表記するのが一般的になっていますので、確認しておく必要があると思います。
加えて、スクラップ・アンド・ビルド、ワンストップ、ノンストップサービス等には、注釈を設ける必要があると思います。また文中において、委員会を「本委員会」としていたり、「当委員会」としていたり、表現が統一されていないのも気になります。

委員長：もう一度読み直して、校正をしましょう。

事務局：内容的に確認をさせていただきたい部分があります。

1ページの「適切かつ十分な自治体サイズ」とは、自治体が個々に判断することであって、客観的に人口規模等の適正を言い表したものではないと解釈しますが、この認識で間違いはないか確認させていただきたいと思います。

副委員長：面積・人口・財政力の全てを含めたものであり、人口が何人とか、面積がいくつ

とかではなく、人口と財政力或いは行政活動と財政力のバランスがとれているという意味で記述したものです。バランスのとれたという意味を「適切な」ということばで表現したものです。

事務局：２ページの４行目の「特例措置」は、財政的な特例措置を意味していると解釈してよろしいですか。

副委員長：結構です。

事務局：ある程度、成文化されたものになりましたので、事務局としては、庁内に本内容について照会をかけ、所管の意見等を確認し、その結果を正副委員長にご報告をさせていただきたいと考えています。

副委員長：事務局から質問がありましたので、読み取りにくい表現については、修正をしたいと思います。

委員長：３ページの③に「市民は行政サービスの客体にとどまらず」とありますが、やや堅い印象を受けますので、「受け手の立場にとどまらず」というような表現に直した方が良いと思います。
ところで市庁舎の項目は、いかがでしょうか。

高梨委員：よろしいと思います。

委員長：他に何か、意見はございませんか。

倉本委員：３ページの（３）の③ですが、どのようにすれば、市民の意識を変えていけるのか、非常に難しい問題だと思います。

委員長：市の広報活動や市長の考えによるところが大きいと思います。

副委員長：新市将来構想策定時の市民フォーラムのように、市民が積極的に参加する仕組みができれば、住民側も勉強することが必要になります。また、勉強しようとしているサークルを手助けすること等も求められます。これは行財政改革というより、次の発展段階の話ではありますが、それが市民意識の改革につながるものだと思います。

松山委員：委員会の意見が、しっかりと網羅されているという印象を受けました。細かいことになりますが、各項目に具体的な取り組みが記載されています。その中で、ダブっているものがあると思います。１５ページと１７ページのどちらにも「ホームページの拡充」の項目があります。見方によっては、両方にあってもおかしくないとは思いますが、同一の施策であれば、どちらか一方は削除できると思います。

事務局：１７ページで言う「ホームページを活用した情報公開の充実」は、例えば、ホー

ムページに各種申請用紙を用意し、それを事前に利用者が記入して、窓口に持参することが可能な仕組みとすれば、市民の利便性の向上にも結びつくというものです。この表現は、その意図が伝わるような表現に、修正したいと思います。

松山委員：もう1つ、7ページでは「公園管理」の民間委託を挙げっていますが、16ページでは「公園等公共施設の市民管理」とあります。矛盾はしないと思いますが、その趣旨を確認させていただきたいと思います。

委員 長：7ページの「公園管理」などは、公園管理業務とすべきかもしれません。
松山委員のご意見ですが、規模の大きい公園は民間委託で、市民管理できる公園は市民管理で、という意味で項目として挙げています。

柳原委員：委員会の中では、厳しい議論があったと思いますが、答申案は、委員会の意見を非常に読みやすく、すっと入ってくるようなものにしていただいております、素晴らしいと感じました。私が用意した朝日新聞の記事も、その主旨は、行政が全てを負担せよというのではなく、受ける側と負担する側の平等が視点にありましたので、その点も盛り込まれており、特に異論はありません。

委員 長：他にないようでしたら、次回以降の会議予定について、事務局から説明をお願いします。

事務局：本日議論いただいた答申案について、庁内に内容を報告し、調整を図りたいと考えています。表現内容にも修正が必要ですし、3月は議会も予定されていますので、申し訳ありませんが、次回の開催は、3月15日午後6時からとさせていただきますと考えています。

3月末に答申を頂くこととなりますが、これも議会開催日程との関係があり、現時点では、3月29日の午後を候補として考えています。詳細につきましては、議会日程が決定次第、ご案内をさせていただきます。

高梨委員：「終わりに」の4行目に「世界第2の経済大国……中国へ、中国へ」と記されていますが、「中国をはじめとする東南アジア諸国へ」とした方が良いと思います。確かに中国の比率は高いようですが、ベトナム、インドネシア、フィリピンなどにも企業は進出しています。間違いとは申しませんが、「中国をはじめとする東南アジア諸国へ」とした方が良いと感じたものですから、あえてご指摘をさせていただきました。

委員 長：「中国などへ」とすることも可能です。

高梨委員：そのような表現でも良いと思います。低コストでベトナムが脚光を浴びていることもありますし、中国に限定する表現は、多少誤解を招くような気がしました。

筑井委員：「おわりに」の文中に「元気が良いのは西東京市だけだ」という表現がありますが、何となく、そう言いきれないと思うのですが。

委 員 長：元気があるのは多摩地区では、西東京市だけという声があります。

事 務 局：他市は財政的に厳しく、マイナス予算にならざるを得ませんから、投資的経費の点から言いますと、西東京市くらい拡大したところはないと思います。まちの実感、市民の実感とは別に、その意味では「元気がある」と言っていたいただいても良いと思います。

筑井委員：市民レベルでみますと、どのような市民層が言っているのかなという気がしました。

委 員 長：自治体のおかれている状況で考えれば、この表現は大げさではないと思います。なかなか景気の良い話題がないので、このくらいは盛り込んでも良いと思いました。

副委員長：確かにこの表現がないと、インパクトに欠ける感があります。

委 員 長：他にございますか。
ないようですので、本日の会議は終了します。ご苦労様でした。